

群馬大学大学院医学系研究科

口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座・関連施設

2020年 業績集

(2020年1月～12月)

医局員名簿	-----	1
医局の動き	-----	4
外来患者統計	-----	5
入院患者統計	-----	7
形成外科臨床統計	-----	8
関連病院概要, 統計	-----	9
業績	-----	21
著書	-----	21
原著論文	-----	21
症例報告	-----	23
学会発表	-----	23
研究会等発表	-----	27
講演	-----	27
表彰	-----	28
研究助成	-----	28
資格取得者	-----	30
学会等役職	-----	30

群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座 関連施設

2020年度 群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座 医局員名簿

(2020年12月現在)

教授	(診療科長)	横尾 聡	
講師	(形成外科診療教授)	牧口貴哉	
講師	(医局長)	小川 将	
助教	(外来医長)	清水崇寛	
	(口腔機能管理担当)	金 舞	
	(形成外科医局長・病棟医長)	平井優樹	
	(病棟医長)	鈴木啓佑	
	(副医局長・副病棟医長)	山口高広	
	(口腔機能管理担当)	浅見拓哉	
	(重粒子線医学センター)	武者 篤	
	(医学教育センター・病理診断学)	関 麻衣	
	医員		柳澤さくら
		(形成外科外来医長)	中村英玄
		谷口明慧	
		中原航大朗	
(副外来医長)		金井 梢	
(形成外科)		山津幸恵	
		喜名美香	
		佐川真実子	
(形成外科)		正田晃基	
病院指導医		伊勢崎市民病院歯科口腔外科主任診療部長	五味暁憲
	すさ歯科クリニック伊勢崎院長	須佐岳人	
	埼玉よりい病院 歯科口腔外科部長	神戸智幸	
	群馬県歯科総合衛生センター長	小杉謙介	
	前橋赤十字病院 歯科口腔外科部長	栗原 淳	
	前橋赤十字病院 歯科口腔外科医師	伊藤佑里子	
医員(パート)	研修医	2年	岡村朋宙
			田村沙弥子
		1年	阿久津伽奈
			清水まや
			濱村和樹
			柳瀬灯矢
歯科技工士		増子 透	
		原沢 栄	
歯科衛生士		佐田美子	
口腔ケア研究員		町田知史子	
(歯科衛生士)			
技術補佐員		横山美津江	

外来看護師		新谷久美		
		大川英美		
		関口かおり		
		亀井由季		
非常勤講師	社会保険診療報酬支払基金群馬支部医療顧問	神戸英明		
	横浜医療センター 歯科口腔外科医長	根岸明秀		
	榛名病院 歯科医長	久保田文隆		
	前橋赤十字病院 歯科口腔外科部長	栗原 淳		
医局関連施設 部長・医長◎	伊勢崎市民病院 歯科口腔外科		372-0817	伊勢崎市連取本町 12-1
		◎五味暁憲 大隅麻貴子 境野才紀		
	榛名病院 歯科		377-0000	渋川市渋川 3658-20
		◎久保田文隆		
	前橋赤十字病院 歯科口腔外科		371-0811	前橋市朝倉町 389-1
		◎栗原 淳 伊藤佑里子 鈴木未来		
	老年病研究所附属病院 歯科・歯科口腔外科			前橋市大友町 3-26-8
		◎福土宙之 戸谷麻衣子	371-0847	
	公立富岡総合病院 歯科口腔外科		370-2393	富岡市富岡 2073-1
		◎佐々木眞一 金井秀子 齋藤恵実		
	公立藤岡総合病院 歯科口腔外科		375-8503	藤岡市中栗須 813-1
		◎高山 優 浅見嘉子		
	サンピエール病院 歯科口腔外科		370-0857	高崎市上佐野町 786-7
		◎小板橋敦 藤田慶恵		
	館林厚生病院 歯科・歯科口腔外科		374-8533	館林市成島 262-1
		◎高野淳志 鎌田紀子		
	埼玉県央病院 歯科・口腔外科		363-0008	埼玉県桶川市坂田 1726
		吉村一義 ◎野原 通 萩原弘幸		
	埼玉よりい病院 歯科口腔外科		369-1201	埼玉県大里郡寄居町用土 395
		◎神戸智幸 神戸美保子		
横浜医療センター 歯科口腔外科		245-8575	神奈川県横浜市戸塚区原宿 3-60-2	
	◎根岸明秀			

OB 関連施設	群馬中央総合病院 歯科	371-0025	前橋市紅雲町 1 丁目 7-13
	◎平林 晋		
医局連携施設	深谷赤十字病院 歯科・口腔外科	366-0052	深谷市上柴町西 5-8-1
	◎小山知芳		
	澤井裕貴		
	高崎総合医療センター 歯科口腔外科	370-0829	高崎市高松町 36
	◎稲川元明		
	薬師寺孝		
	木村将典		
	柴野正康		
	くすの木病院 歯科口腔外科	3750024	藤岡市藤岡 607-22
	◎中野みゆき		
	塩谷智映子		
研修登録医	橋本由利子		
	井田順子		
	柿沼裕道		
	宮久保満之		
	大久保滋郎		
	宮下 剛		

医局の動き (2020年1月～12月)

1月	6日	仕事始め		
1月	21日	研修医終了認定試験		
3月	27日	研修医修了式(岡崎寛弥,小林聖司,齋藤恵実,田中優衣,藤田慶恵)		
	31日	退局	仁村文和	(2018年入局)
			後村大祐	(2018年入局)
			高久裕紀	(2012年入局)
			伊東慶介	(2016年入局)
			岡崎寛弥	(2018年入局)
			小林聖司	(2018年入局)
4月	1日	講師採用	小川 将	(助教より)
		助教採用	平井優樹	(神戸大学形成外科より)
		医員採用	谷口明慧	(公立富岡総合病院より)
			佐川真実子	(前橋赤十字病院より)
			正田晃基	(研修医より 形成外科)
		出向	伊勢崎市民病院	大隅麻貴子 (公立藤岡総合病院より)
			公立藤岡総合病院	池 嘉子 (前橋赤十字病院より)
			前橋赤十字病院	鈴木未来 (サンピエール病院より)
			公立富岡総合病院	齋藤恵実 (研修医より)
			桐生厚生総合病院	田中優衣 (研修医より)
			サンピエール病院	藤田慶恵 (研修医より)
		2020年度臨床研修医採用	阿久津伽奈	
			清水まや	
			濱村和樹	
			柳瀬灯矢	
6月	1日	助教採用	鈴木啓佑	(医員より)
			山口高広	(医員より)
		病院助教採用	浅見拓哉	(医員より)
7月	4日	2021年度研修医説明会		
8月	7日	浅見拓哉先生・池嘉子先生ご結婚		
8月	22日	2021年度研修医採用試験		
12月	22日	研修医終了認定試験		
12月	28日	仕事納め		

群馬大学医学部附属病院歯科口腔・顎顔面外科 臨床統計 (2020年1月～2020年12月)

外来初診患者数					
疾患別	2020年	2019年	紹介機関別	2020年	2019年
埋伏智歯・炎症	393	308	歯科から	1064	1310
その他の埋伏	9	10	医科(院内)	170	126
骨折・歯の破折・脱臼	54	70	精神科神経科	11	12
軟組織の外傷	39	65	小児科	21	24
炎症	106	125	整形外科	20	22
歯性上顎洞炎	29	21	皮膚科	40	61
良性腫瘍	111	150	眼科	2	8
悪性腫瘍	160	118	耳鼻咽喉科	132	109
嚢胞	82	103	放射線科	14	13
顎関節疾患	71	74	産婦人科	8	14
唾液腺疾患・唾石	23	28	麻酔科蘇生科	3	3
粘膜疾患	297	311	脳神経外科	34	24
神経疾患	31	17	脳神経内科	37	32
血液疾患	10	4	核医学科	1	1
顎変形症	15	13	重粒子医学センター	29	31
その他	59	120	救急部	62	31
口腔外科疾患 小計	1489	1536	検査部	0	0
う蝕	36	100	総合診療科	15	10
歯内疾患	53	75	循環器内科	33	25
歯周疾患	379	369	呼吸器・アレルギー内科	90	93
有床義歯	24	46	内分泌糖尿病内科	27	29
その他	37	59	消化器・肝臓内科	18	20
不明	0	2	腎臓・リウマチ内科	85	70
合計	2018	2187	血液内科	86	73
周術期口腔機能管理	474	357	循環器外科	70	36
			呼吸器外科	8	23
			消化管外科	60	50
			乳腺・内分泌外科	17	9
			小児外科	0	1
			肝胆膵外科	90	90
			形成外科	4	1
			泌尿器科	53	64
			ICU	0	1
			医科(院内) 小計	1070	980
			紹介なし	91	117
			その他	0	34
			合計	2395	2567
			紹介率(院内含む)	96.2%	95.4%
			(院内含まず)	51.5%	57.2%

外来初診患者数（疾患別：集計の違いにより左図とは若干の相違あり）

口腔外科疾患			2020年	2019年				2020年	2019年	
先天異常	口唇・口蓋裂	唇（顎）裂	0	0	良性腫瘍 および腫瘍類似疾患	歯原性腫瘍	エナメル上皮腫	11	8	
		口蓋裂	0	0			角化嚢胞性歯原性腫瘍	2	3	
		唇顎口蓋裂	0	0			セメント芽細胞腫	5	2	
		鼻咽腔閉鎖不全	0	0			歯牙腫	1	2	
	その他の先天異常	2	5	その他の歯原性腫瘍			3	4		
顎変形症	下顎前突症	11	12	非歯原性腫瘍	乳頭腫	16	19			
その他の顎変形症	4	1	線維腫		36	45				
骨隆起		17	11		血管腫	24	36			
小帯位置異常		4	1		エプーリス	9	10			
					その他の非歯原性腫瘍	8	14			
外傷	骨折	歯槽骨骨折	2	1	腫瘍類似疾患					
		上顎骨骨折	1	0						
		下顎骨骨折	11	7						
		頬骨・頬弓骨折	1	0						
	歯牙	脱臼	14	29		歯科心身症			25	47
		破折	22	29		顎関節疾患	顎関節症	57	66	
軟組織損傷	口腔外創傷	8	21	顎関節脱臼	12	13				
	口腔内創傷	31	44	顎関節強直症	1	0				
炎症	膿瘍	頬部膿瘍	16	17	神経性疾患	三叉神経痛	5	6		
		顎下膿瘍	9	4		顔面神経麻痺	0	0		
		口底膿瘍	1	0		非定型顔面痛	6	1		
		その他	17	14		その他の神経性疾患	10	13		
	顎骨炎	顎骨骨髓炎	45	45		唾液腺疾患	唾液腺炎	顎下腺炎	6	7
顎骨骨膜炎	5	2		耳下腺炎	1		2			
上顎洞炎		24	21	その他	5		4			
特異性炎		7	0	唾石症			5	6		
インプラント周囲炎		4	5	唾液腺腫瘍	多形腺腫		0	4		
睡眠時無呼吸症候群		0	5		腺様嚢胞癌	0	2			
インプラント症例		3	0		腺癌	1	0			
口腔粘膜疾患	褥瘡性潰瘍	頬部潰瘍	28	25	悪性腫瘍	癌腫	粘表皮癌	0	1	
		口腔乾燥症	48	47			悪性黒色腫	0	1	
		地図状舌	7	2			悪性リンパ腫	4	1	
		白板症	58	104			その他の悪性腫瘍	3	6	
		扁平苔癬	57	57			リンパ節転移	2	1	
		ウイルス性疾患	7	7			肉腫	0	1	
		その他の口腔粘膜疾患	104	180			悪性リンパ腫	0	1	
嚢胞	歯原性嚢胞	歯根嚢胞・残留嚢胞	32	24	歯の疾患	P, Per など	862	780		
		含歯性嚢胞	15	14		Perico, 埋伏歯, 位置異常など	392	317		
		その他の歯原性嚢胞	1	5		合計	2297	2326		
	非歯原性嚢胞	鼻口蓋管嚢胞	2	4						
		術後性上顎嚢胞	6	3						
		単純性骨嚢胞	2	2						
軟組織嚢胞	その他の嚢胞	2	1							
	粘液嚢胞・ガマ腫	34	51							
	類皮嚢胞・類表皮嚢胞	0	0							
	その他の嚢胞	0	2							

病棟患者統計(2020年1月～2020年12月)



	2020年		2019年	
	入院	手術	入院	手術
悪性腫瘍	176	136	145	104
頸部郭清(単独+併施)		42		27
再建手術(植皮, 人工材料含む)		82		50
良性腫瘍	14	14	19	19
炎症	8	5	6	2
上顎洞疾患			8	8
歯性上顎洞炎	8	8		5
術後性上顎嚢胞	2	2		3
その他	2	2		0
嚢胞			18	18
歯根嚢胞	6	6		9
その他	5	5		9
外傷(抜釘含む)	2	2	7	5
粘膜疾患(上皮異形成以外)	0	0	0	0
唾液腺疾患	1	1	4	4
抜歯	17	18	13	13
顎変形症(抜釘含む)	7	7	5	5
顎関節疾患	0	0	1	0
その他	8	7	0	0
計	256	213	226	181
病床稼働率	歯科口腔・ 顎顔面外科 病院全体		100.8 %	82.8 %
			76.4 %	82.3 %

日帰り手術室(DSU)手術症例

	2020年	2019年
マイクロエンドサージェリー	5	18
レーザー手術	9	10
抜歯術	0	0
粘膜疾患手術	0	0
インプラント関連手術	0	0
その他	0	0
計	14	28

群馬大学医学部附属病院形成外科 臨床統計 (2020年1月～2020年12月)

新患者数 374 例

入院患者数 176 例

	入院	外来	計
全身麻酔での手技数	321		321
腰麻・伝達麻酔での手技数	8		8
局所麻酔・その他での手技数	21	105	126
入院または全身麻酔の手技数計：350			
外来での腰麻・伝達麻酔、局麻、その他の手技数計：105			
合計係数：402.5			

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	
外傷	54						54
先天異常	4					2	6
腫瘍	168	1	5			68	242
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	21		1			24	46
難治性潰瘍	36	7	11				54
炎症・変性疾患	9					3	12
美容（手術）							
その他	29		4			8	41
Extra レーザー治療							

関連病院 概要

伊勢崎市民病院歯科口腔外科

常勤歯科医師 主任診療部長 五味暁憲 医員 境野才紀（1～3月）大隅麻貴子（4月～）

非常勤歯科医師 柳澤さくら，武者 篤（～1月），伊原木聰一郎（2月），小川 将（5月～），清水崇寛（5月～），鈴木啓佑（5月～）

初診患者数（再初診含む） 1587名 紹介率 90.3%

再診患者数 1 6848名

年間累計患者数 10215名

疾患別手術症例（含全麻症例）

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	45 例
炎症	27 例	嚢胞	17 例
外傷	10 例	粘膜疾患	2 例
唾液腺疾患	16 例	インプラント	0 例
抜歯	952 例	その他	7 例

（うち難抜歯・埋伏歯 505 例）

平成 30 年 4 月より関連病院となりました。歯科医師 2 名，歯科衛生士 3 名が診療に当たっております。患者増加に伴い，外来小手術の早期実施が困難となって参りましたので，平成 31 年 4 月から非常勤歯科医師を派遣していただいております。また，小手術における患者の全身管理，安全確保を目的に看護師が配置されました。それに伴い，令和 2 年 6 月より地域歯科診療支援病院歯科初診料・再診料の算定を行っております。中央手術室での手術枠は週一日（火曜）で，現在 1 日 3 件程度の全身麻酔下口腔外科手術を実施しております。

日本口腔外科学会準研修施設に認定されました。認定医，専門医を目指す若手 Dr が着任した際に，当科での業績が活用できるようにしたいと思います。

着任後から始めた診療室のアレンジですが，診療室内のプライバシー及び感染制御対策として，各ユニットの間にパーテーションを設置いたしました。ユニット配置を 6 台から 3 台にしたため，パーテーションで区切ってもユニット 1 台当たりの診療スペースは比較的広く確保されております。12 月にユニット 1 台を更新し，3 台ともモリタ G20 となりました。

チーム医療の一環として，院内の摂食嚥下リハビリテーションに関わって参りました。H31 年 4 月から毎週金曜日午後には嚥下障害患者の回診を行っております。チームは耳鼻咽喉科 Dr，歯科口腔外科 Dr，看護師（脳卒中リハビリ認定 Ns，摂食嚥下障害看護認定 Ns），歯科衛生士，言語聴覚士，管理栄養士，薬剤師で構成されており，ベッドサイドあるいは耳鼻咽喉科外来で口腔の評価，内視鏡を用いた嚥下評価を行い，リハビリのメニューや食事の形態，摂取方法など検討し，主治医や担当 Ns，ST にフィードバックしています。

周術期等口腔機能管理は，地域歯科医院と当院との連携が構築されており，当院の手術予定患者さんは院外の歯科医院で口腔管理を受けています。そのおかげで当科は口腔外科診療に集中できる形になっております。病院内外からの要望に徐々に応えられる形になってきましたが，引き続き診療科のシステムを改善，充実していきたいと思っております。

群馬県歯科総合衛生センター

専任歯科医師 小杉謙介

非常勤歯科医師 五味暁憲, 木下 樹, 辻野啓一郎, 久木留宏和, 永井諭子, 船津敬弘, 嘉手納未季,
馬目瑤子

非常勤医師 戸部 賢

初診患者数 (再初診含む) 1559 名 紹介率 60.5%

再診患者数 1743 名

年間累計患者数 3302 名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	2 例
炎症	39 例	嚢胞	1 例
外傷	18 例	粘膜疾患	1 例
唾液腺疾患	0 例	インプラント	0 例
抜歯・埋伏歯	342 例	その他	1 例

当センターは昭和 49 年に群馬歯科医師会が県の委託を受け、県内障害者歯科治療の二次医療機関として開設されました。スペシャルニーズのある方を対象とし、週 5 日の診療を通して、歯や口腔の健康を回復・維持・向上に努めることを目的としています。

COVID-19 の感染拡大により、入所者の外出を禁止する障害者福祉施設が相次ぎました。また、複数施設でのクラスター発生もありました。通所利用者の中にも、歯科受診を控える患者が多く、累計患者数は昨年と比較して減少しました。しかし静脈内鎮静法を併用した歯科治療・外科処置は増加しており、二次医療機関として地域医療に貢献できたと考えています。

当センターの患者は複雑な基礎疾患や気道トラブルリスクを有していることが多く、より慎重な治療が求められます。今後も群馬大学麻酔科専門医の協力のもと、全身麻酔下での処置を行いたいと考えています。来年度も、より安全な医療を提供できるよう尽力したいと思います。

群馬県立精神医療センター

非常勤歯科医師 金 舞, 佐川真実子

初診患者数 (再初診含まず) 28 名 紹介率 0%

再診患者数 550 名

年間累計患者数 578 名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	0 例
炎症	0 例	嚢胞	0 例
外傷	0 例	粘膜疾患	0 例
唾液腺疾患	0 例	顎関節疾患	0 例
有病者歯科, 抜歯	25 例	その他	0 例

当センターは群馬県精神科救急システムの基幹病院であり、民間病院では受入れが難しい精神障害者措置入院に対応しています。当科は 2012 年 12 月診療を中止しましたが、入院患者の歯科・口腔疾患への対応が必要であり、2013 年 4 月より診療を再開致しました。入院患者の歯科治療を軸として、病状に応じた歯科処置対応に努めていて、年間再診率は上昇傾向です。外来通院後も、継続的な歯周疾患管理や義歯管理を行い、口腔衛生環境の改善および安全な診療を提供しています。また、入院加療に伴いセルフケアコントロール不十分な患者において主治医と連携し、口腔衛生管理の向上に寄与している。

榛名病院 歯科・歯科口腔外科

専任歯科医師 久保田 文隆

非常勤歯科医師 中原 航大朗

初診患者数（再初診含む）：873名 紹介率 15%

再診患者数：2615名

年間累計患者数：3488名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0例	良性腫瘍	5例
炎症	5例	嚢胞	20例
外傷	0例	粘膜疾患	5例
唾液腺疾患	0例	インプラント	2例
抜歯・埋伏歯	471例	その他	0例

榛名病院は渋川駅と温泉地伊香保の中間地点にあり、ベッド数300床の精神科病院となっております。精神科、内科、歯科・歯科口腔外科の3科を診療科として掲げています。

当科は手術室・病棟を備えておらず、一般歯科診療および局所麻酔下での小外科手術を中心とした外来診療を行っております。

外来受診患者は精神疾患や認知症などで当院入院中や外来受診の患者、また精神遅滞・四肢不自由で近隣施設に入所されている方、近医療機関から紹介していただいた患者の治療を中心に行っております。

今年度はコロナ感染拡大防止の上で、予約の人数制限や、一人当たりの診療時間を調整して密になることを避け、診療してまいりました。引き続き、感染拡大防止策を講じたうえで、関連病院、2次医療機関として、地域の医療に貢献できるよう努めていく所存です。

前橋赤十字病院 歯科口腔外科

常勤歯科医師 部長：栗原 淳 医員：伊藤佑里子・鈴木未来・岡村朋宙（研修医、10月～12月）

非常勤歯科医師 清水崇寛

初診患者数（再初診含む） 2040名 紹介率 94.5%

再診患者数 8036名

年間累計患者数 10076名

疾患別手術症例 手術総数：2020年1019例（内全麻 259例）

（前年度比較 2019年1003例（内全麻 164例））

口腔外科学会認定准研修施設（2020年10月更新 2021年4月研修施設へ申請予定）

2020年手術内訳

悪性腫瘍	3例（内全麻3例）	良性腫瘍	31例（内全麻5例）
炎症	27例（内全麻5例）	嚢胞	35例（内全麻13例）
外傷	26例（内全麻7例）	粘液疾患	6例（内全麻0例）
唾液腺疾患	0例（内全麻0例）	インプラント	0例（内全麻0例）
抜歯	866例（内全麻215例）	その他	38例（内全麻11例）

（上顎洞疾患含む）

全身麻酔症例 計259症例（前年度比較：95症例増）

当院は前橋保健医療圏のみならず群馬県における高度急性期・救急医療を担う地域の中核病院として、また災害医療を担う基幹災害拠点病院であり、信頼され安心・安全のよりどころとなる病院をめざしております。また、地域がん診療連携拠点病院として全身麻酔手術を受ける患者さんの周術期合併症を低下することや抗がん剤治療における口腔支持療法を行うことで、癌患者さんの一助となるよう努めています。口腔支持療法の成果もあり、周術期等口腔機能管理Ⅲも増加傾向となっています。

昨今のコロナ渦の中、今年度から部長就任に伴い、紹介患者数・全身麻酔による手術件数が大幅に増加しております。具体的には月に平均 20 例、週では最低でも 4-5 例の全身麻酔症例を行っております。さらに形成外科と合同の多発顔面外傷症例や重症菌性感染症症例のみならず、群馬大学口腔外科と連携し、口腔癌手術症例も徐々にではありますが増加しております。また、当院の理念である「みんなにやさしい頼りになる病院」になるよう努めてまいりましたが、そのおかげか、連携医や二次医療機関からの紹介がさらに増え、また大学病院との連携も図れていることから、二次医療機関で行うべき口腔外科疾患の増加を認めます。口腔外科疾患のみだけではなく、一次医療機関では対応できない口腔心身症、舌痛症などの疾患も多く認めます。有病者歯科疾患(血液疾患患者など)、口腔外科疾患、周術期等口腔機能管理、NST ラウンド、摂食機能療法など診療は多岐にわたり、マンパワー不足は否めませんが、今後も診療連携を図り、地域の二次医療機関としての役割を果たしていけるよう努力してまいります。今後とも御指導・御鞭撻の程よろしく願いいたします。

老年病研究所附属病院 歯科, 歯科口腔外科

専任歯科医師 福土宙之、戸谷麻衣子

非常勤歯科医師 茂木健司（第 3 火曜日）、伊達佑生（毎週木曜日）

初診患者数（再初診含む）1,066 名 紹介率 12.3%

再診患者数 6,634 名

年間累計患者数 7,690 名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	7 例
炎症	15 例	嚢胞	7 例
外傷	14 例	粘膜疾患	4 例
唾液腺疾患	1 例	インプラント	8 例
抜歯・埋伏歯	447 例	その他	5 例

※その他：顎関節徒手の整復

当院は脳神経外科、脳神経内科、整形外科を中心に地域の高齢者への健康寿命づくりを追求しています。そのために急性期から回復期、さらには在宅医療までサポートする完結型医療をめざしています。2019 年度より基幹型初期臨床研修施設となり、5 名の医科初期研修医が研修を行っています。

新型コロナウイルス感染症によると思われる受診控えも見られ、特に 4~6 月は受診患者数が顕著に減少しました。外来手術患者がやや増加したこと、炎症や外傷による入院患者がやや増加したため極端な減収にまでは至りませんでした。

一時受け入れ中断をしていた歯科衛生学生実習についても、10 月より再開し外来のみの制限付き

にて実習受け入れ再開をしました。院内他科との併診が多い有病高齢者を中心に診療を行っているため、十分に予防しつつ診療・実習を行っていきます。

当科の診療内容は一般歯科治療が中心で、前処置を含めた補綴処置が多数を占めます。臨床が中心であり学術的な発表などは積極的には行っておりませんが、年1編程度の学会発表を行うように考えております。併設の老人保健施設や個人宅、高齢者住宅への訪問歯科診療も実施しております。

公立富岡総合病院歯科口腔外科

歯科口腔外科診療部長：佐々木真一 主任医長：金井秀子

医長：谷口明慧（1月～3月）、斎藤恵美（4月～）

初診患者数（再初診含まず）1798名 紹介率：38.6%

再診患者数：5883名

年間累計患者数：7681名

疾患別入院，手術症例

悪性腫瘍	1 例	良性腫瘍	1 例
炎症	43 例	嚢胞	54 例
外傷	1 例	顎関節疾患	0 例
唾液腺疾患	0 例	粘膜疾患	0 例
抜歯（全麻）	7 例	その他	2 例

外来抜歯件数

水平埋伏歯	101 例	埋伏歯	18 例
難抜歯	204 例	普通抜歯	552 例

2020年は、新型コロナウイルス（COVID-19）による感染の影響もあり、いままでの診療体制が一変しました。外来においては、新規初診患者の激減、手術においては、入院抜歯は原則中止となりました。2020年2月日本歯科医師会からの提言、2020年3月31日、日本口腔外科学会からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への口腔外科の対応に関する注意喚起 Ver1.2が提言されたため、この提言にしたがって悪性腫瘍以外の緊急性のない疾患の手術は延期しました。そして2020年6月12日に口腔外科手術の再開についての提言が出されるまでは自粛を余儀なくされました。そして手術再開可能かと考えていたところ、第3波の到来や入院病棟で接触歴のない入院患者が、PCR陽性反応がでたことにより手術の再開は難しくなりました。そのため全身麻酔件数は、例年の1/6まで減少しました。12月の時点では外来患者数は約70%まで回復しましたが、現在でも受診を控えている患者さんが多数います。ワクチン接種がいきわたるまでは、もとのようにもどることは難しいと考えます。外来診療のなかでは、歯科用マイクロスコープを導入しました。患者自身の粘膜疾患の説明や根管治療および歯根端切除術（逆根管充填）に使用しています。患者さんにも大変好評です。歯科用マイクロスコープを使用しての歯根端手術依頼も少しずつ増加しています。病院歯科口腔外科のひとつの柱になるかもしれません。公立富岡総合病院の医療圏人口も減少傾向がつついており、今後10年で20歳までの若い世代の人口は、現在の半分になる予想がでています。しかしそのなかで周術期口腔機能管理は増加しています。今後も地域歯科医師会の先生との病診連携を進めることにより、2次医療機関としての病院歯科口腔外科の本来の役割を果たせるようにしていきたいと思っております。

公立藤岡総合病院 歯科口腔外科

歯科口腔外科医長 高山 優

医員 大隅麻貴子（1月～3月）、浅見嘉子（4月～12月）

田村沙弥子（研修医、7月～9月）

初診患者数 1115人（2020年1月～12月）

再診患者数 4583人（2020年1月～12月）

年間累計患者数 5968人（2020年1月～12月）

紹介率 60.4%

疾患別全身麻酔下手術症例（2020年1月～12月）

悪性腫瘍	4例	良性腫瘍	5例
炎症	3例	嚢胞	11例
外傷	1例	顎関節疾患	1例
唾液腺疾患	0例	上顎洞疾患	3例
抜歯	26例	その他	1例

公立藤岡総合病院歯科口腔外科は今年で3年目を迎えました。今年はCOVID-19の流行で初診患者数、手術件数が少ない月もありました。しかし近隣医療機関の支えで、紹介患者は月平均92人であり昨年88人と比較し増加しました。手術件数も今年は52例であり昨年35例と比較し増加しました。皆様方の協力とこれまでの努力の結果と考えております。患者数が増加傾向であるため、2021年4月からは常勤歯科衛生士が1人増え合計3人になります。スタッフ間で適切に協力することにより、安全で良質な医療をこれからも提供して行きたいです。また、引き続き、地域医療機関、関連病院および大学病院と連携を組み、群馬県・埼玉県北部の歯科口腔外科医療を支えて行きたいです。

院内活動では、新たに入院患者の誤嚥性肺炎予防目的に簡易スクリーニングツールを用いた口腔ケア介入を開始しました。現在、病棟を限定し試験的に運用しております。今後は対象病棟を増やし、入院患者全てに対して行い、院内における誤嚥性肺炎を口腔外科的立場から予防したいと考えております。

研究面は群馬県歯科医学会学術大会で1題、日本口腔外科学会総会で1題発表しております。論文はこれまで発表したもの4題投稿予定です。

教育については歯科医師臨床研修の協力型施設として昨年度認定されたため、今年は研修医の1名を受け入れました。外来での一般歯科治療、口腔外科処置、全身麻酔下での手術を経験して貰いました。来年もよろしく願いいたします。

サンピエール病院 歯科口腔外科

専任歯科医師 小坂橋敦

鈴木未来（1月～3月）

藤田慶恵（4月～）

初診患者数（再初診含む）1,468名 紹介率 11%

再診患者数 9,492名

累計患者数 10,960名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	4 例
炎症	8 例	嚢胞	9 例
外傷	3 例	粘膜疾患	12 例
唾液腺疾患	8 例	インプラント	0 例
抜歯・埋伏歯	637 例	その他	8 例

医療法人山崎会サンピエール病院は、高崎市に位置する精神科を主体とした総合病院です。

診療内容は、近隣医療機関紹介の口腔外科疾患の対応や、入院および外来患者、関連施設入所患者の有病者歯科治療や、一般外来患者の治療を行っております。

診療ユニット 3 台、コーンビーム CT、医科用 CT、パノラマ、デンタル X 線装置が利用可能。衛生士は 3 名が常勤となっております。

2020 年はご多分に漏れず新興感染症の恐怖が渦巻く中で、いかにスタッフや患者さんに感染症を出さず、診療に制限が生ずることを避け、患者さんに安心して通院いただくかに心を砕いてきた 1 年でございました。どうか 2021 年 1 月時点までは当院は当科を含め大過なく診療体制を維持しております。

大学病院や関連病院の先生方に様々な意見をお聞きしたいところではありますが、先生方の感染症予防に対する社会的責任の大きさを鑑み自粛させていただいております。また先生方とお会いできる日を心待ちにしております。

館林厚生病院 歯科，歯科口腔外科

歯科部長 鎌田紀子

歯科口腔外科部長 高野淳志 非常勤歯科医師 根岸明秀

常勤歯科衛生士 4名（1名病欠，1名産休中）

パート歯科衛生士 1名

初診患者数（再初診含む）	歯科	260名	歯科口腔外科	915名	計	1175名
再診患者数	歯科	1630名	歯科口腔外科	2962名	計	4592名
紹介率	歯科	8.0%	歯科口腔外科	96.6%		
逆紹介率	歯科	15.3%	歯科口腔外科	89.0%		

疾患別手術症例

	外来	入院外来	全身麻酔		外来	入院外来	全身麻酔
悪性腫瘍	0	0	1 例	良性腫瘍	26	4	0 例
炎症	—	5	0 例	嚢胞	3	0	5 例
外傷	2	0	0 例	顎関節疾患	3	0	1 例
唾液腺疾患	10	0	3 例	上顎洞疾患	6	0	3 例
障がい者歯科	—	—	13 例	変形・奇形	0	0	0 例
抜歯（有病者・埋伏歯）	322	117	11 例	その他（小帯・腐骨）	21	5	0 例

当院の特徴：歯科と歯科口腔外科の分科

歯科：有病者歯科疾患，周術期口腔ケア，

歯科口腔外科：抜歯+顎関節症+舌痛症が3大疾患

短期入院患者（智歯4本抜歯等の局所麻酔小手術）

全身麻酔下障害者歯科治療

（群馬県歯科総合衛生センター，館林歯科衛生保健センター，

とちぎ歯の健康センター，学会認定医の先生方と連携）

歯科，歯科口腔外科ともに完全紹介型．歯科口腔外科の初診日は，月・水の2日間のみ．

昨年3月にコロナウィルス院内感染あり，3週間の休診を余儀なくされた．その後も5月まで外来，全麻ともに手術制限がかかり手術件数は減少．6月より徐々に再開となった．

現在当科では外来手術を含め，エアロゾル発生手術は全症例PCR検査を行い，フルPPE対応で手術を行っている．

医療法人財団聖蹟会 埼玉県中央病院歯科口腔外科

部長 野原 通 医長 石川 潤

医員 萩原弘幸（群馬大学），齋藤 知、李 大介

非常勤医員 富田文貞、並木千鶴、柏原智章

初診患者数（再初診含まず） 1072名 紹介率 63%

紹介患者数（院内紹介含まず） 685名

再診患者数 10,271名

累計患者数 13,913名

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0	例	良性腫瘍	13	例
炎症	46	例	嚢胞（歯根嚢胞含む）	39	例
外傷	11	例	粘膜疾患	8	例
唾液腺疾患	5	例	インプラント	51	例
抜歯	1026	例	その他	12	例

入院及び手術症例（入院症例：173例、手術症例：134例）

悪性腫瘍	0	例	良性腫瘍	5	例
炎症	65	例	嚢胞（歯根嚢胞含む）	15	例
外傷	2	例	粘膜疾患	3	例
唾液腺疾患	3	例	インプラント	2	例
抜歯（埋伏歯含む）	78	例	その他	0	例

当院は埼玉県桶川市に昭和63年設立されました。

しかし患者内訳ではほとんどが一般歯科診療の対象患者であり、口腔外科的疾患の対応はほとんど不可能な状況でした。

平成29年4月より横尾 聡教授のご高配で、群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座の関連施設に加わりました。

そこで一般歯科診療が主だった当院の体制を、理事長からの依頼で平成29年より口腔外科の診療できる施設としての拡大をすべく、スタッフのすみ分けを行い口腔外科部門、一般歯科部門（インプラント診療含む）に分けて、特に口腔外科部門では紹介患者の積極的受け入れを行いました。

そのために北足立郡歯科医師会に入会させていただき、積極的な地域医療機関との連携を構築するように努力してまいりました。

その結果、一気に紹介患者数が増加し、さらに入院症例も年々増加しております。今後は地域歯科医師会と群馬大学の先生方との協力体制の元、医療連携の拡大化を構築し、さらに口腔外科疾患の診療拡大を図ります。

埼玉よりい病院

歯科口腔外科部長：神戸智幸

非常勤口腔外科医：神戸美保子，武者 篤

初診患者数：1505名（紹介率：82.4%）

再診患者数：4628名

年間累計患者数：6133名

疾患別入院・手術症例

悪性腫瘍	10 例	良性腫瘍	17 例
炎症	13 例	嚢胞	9 例
外傷	6 例	粘膜疾患	3 例
唾液腺疾患	2 例	顎関節症	0 例
埋伏歯，抜歯	62 例	その他	4 例

当院は急性期・回復期・慢性期すべての病床機能を持つケアミックス型病院であり 2003 年 5 月に設立されました。当科は 2015 年 4 月から群馬大学医学部附属病院歯科口腔・顎顔面外科の関連施設として新設し、6 年が経過しようとしています。

今年は、横尾先生のご尽力により武者先生に非常勤（月曜）で来て頂き、当科の運営に多大な貢献をして頂き厚く御礼申し上げます。

手術症例が経年的増加しており、全身麻酔手術枠を月曜と木曜に増やしました。月曜の全身麻酔は群馬大学医学部附属病院麻酔蘇生科より非常勤医を出していただいております。久しぶりに群大手術室の雰囲気ですべてをさせて頂くことができ幸せを感じております。

2019 年は神戸自身が特定医療法人の常務理事を拝命し、その直後に COVID-19 の感染拡大が始まった年でした。COVID-19 に関わる病院・介護施設管理運営（行政・医師会等との連携、就労環境の改善等を含む）を必死になり試行錯誤しながら行った年であり、まさに問題提起・決能力、創造・実行力を試された年となりました。

COVID-19 の収束を期待しつつ、私個人・口腔外科・よりい病院・医療法人が常に地域から必要とされるよう、日々研鑽し努力していく所存です。

国立病院機構 横浜医療センター 歯科口腔外科

専任歯科医師 根岸明秀

非常勤歯科医師 吉井 悠（～2020.3.31）、渡辺大智（2020.4.1～）、中川令恵（NST 回診担当）

初診患者数（再初診含む） 1,820 名 入院調整センター依頼患者数 1,257 名

再診患者数 6,882 名

年間累計患者数 8,702 名 紹介率：40.1 %

疾患別入院・手術症例（2020.1～12）：96 例・102 件

悪性腫瘍	7 例	良性腫瘍	12 例
炎症	2 例	嚢胞	7 例
外傷	7 例	(MocroEndoSurgery 併施)	8 例
粘膜疾患	7 例	顎関節	2 例
抜歯	49 例	その他	1 例

2020 年の人事の動きとして、週 4 日勤務の吉井先生が渡辺先生に交替になりました。吉井先生はタイミングよく 3/27 から産休に入り、4/24 に無事男児を出産されております。また、Medical Assistant が 8 月に交替になりました。

臨床では、COVID-19 拡大の影響から 4、5 月には若干の患者数減少となりましたが、その後は前年とほぼ同様の患者数となっております。ただ悪性腫瘍症例では、進行例となってからの受診のため横浜市大へ依頼した症例も多く見られました。手術件数も微減でした。2019 年より導入した習慣性顎関節脱臼に対する超音波切削器による関節結節切除術を 2 例、2018 年から開始した Endodontic Microsurgery は 8 例実施し計 27 例になりました。昨年 1 月より開始した当院周術期センター対象の全麻予定症例の歯科衛生士による口腔チェックでは、1,257 名が受診され、術前口腔ケアや動揺歯固定処置を実施し、周術期のトラブルの減少に貢献できております。

研究では、コロナ禍により学会の動向が不明であったため、一昨年末にエントリーした口腔ケア学会シンポジウムでの報告のみでした。学会だけでなく教育面もオンライン化に移行していることから、この新たな状況に即した環境整備の必要性を感じています。

独立行政法人 地域医療機能推進機構 群馬中央病院 歯科

歯科診療部長 平林 晋

初診患者数 (再初診含まず) 1,313 名

再診患者数 3,774 名

紹介率 8.1%

疾患別外来手術症例

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	4 例
炎症	15 例	嚢胞	0 例
外傷	3 例	口腔粘膜疾患	12 例
唾液腺疾患	0 例	インプラント	0 例
抜歯・埋伏抜歯	167 例	その他	48 例

群馬中央病院は、地域における急性期中核病院、二次救急医療機関としての役割を担っている。平成 19 年 4 月に、地域医療連携室、医療福祉相談室、訪問看護室を統合した地域医療連携課を発足させ、平成 25 年 4 月には、地域医療・総合企画課となり、地域医療機関、福祉施設、医療行政機関との連携を密にし、地域医療の充実に力を入れている。平成 26 年 4 月より、組織変更により、独立行政法人 地域医療機能推進機構 群馬中央病院と、名称変更した。

診療科は、内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・糖尿病・内分泌内科・小児科・外科・消化器外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・肛門外科・緩和ケア一外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・歯科・麻酔科・病理診断科・リハビリテーション科・精神科の 23 科で、病床数は、333 床である。

当院歯科では、外来患者さんの歯科治療に加え、他科に入院中または通院中の患者さんに対する

有病者歯科治療および口腔衛生指導，さらに、NST回診への参加に加え、H30年8月より、歯科衛生士が摂食嚥下訓練の対象患者さんの口腔清掃を病棟にて行っている。また、令和元年より、附属老健施設の入所、通所利用者様の口腔清掃を、歯科衛生士が行っている。さらに、開業医の先生方からの紹介患者さんの歯科口腔外科治療にあたっており、全身の健康管理も含めた総合的な歯科治療および口腔衛生指導を通じ、地域住民の健康に寄与することを使命としている。

深谷赤十字病院 歯科口腔外科

専任歯科医師 2人

非常勤歯科医師 5人

初診患者数： 2312名 紹介率 72.3%

年間患者数： 6317名

疾患別外来手術症例(2020/1～2020/12)

炎症	48 例	良性腫瘍	52 例
外傷	28 例	嚢胞	45 例
抜歯・埋伏歯	1459 例	唾液腺疾患	14 例

疾患別全身麻酔手術症例(2019/1～2019/12)

外傷	5 例	良性腫瘍	12 例
抜歯・埋伏歯	48 例	嚢胞	16 例
唾液腺疾患	1 例	その他	2 例

高崎総合医療センター歯科口腔外科

専任歯科医師： 医長 稲川元明 (歯科麻酔・ペインクリニック・摂食嚥下担当)

専任歯科医師 薬師寺孝 (口腔外科担当)

専任歯科医師 木村将典 (摂食嚥下担当)

専任歯科医師 柴野正康 (口腔外科担当)

非常勤歯科医師(専修医) 倉持真理子 (歯科麻酔・摂食嚥下担当)

非常勤歯科医師(専修医) 前山恵里 (口腔外科担当)

非常勤歯科医師 辻野啓一郎 (一般歯科・小児歯科・障害者歯科担当)

非常勤歯科医師 荒井 亮 (一般歯科・小児歯科・障害者歯科担当)

初診患者数(初再診を含む) 1732名 紹介率 74%

再診患者数 9285名 (1日平均51名)

紹介率

疾患別入院・手術症例(2020.1～12)： 168 例

悪性腫瘍	10 例	良性腫瘍	7 例
炎症	9 例	嚢胞	15 例
外傷	9 例	粘膜疾患	0 例
唾液腺疾患	6 例	デンタルインプラント	1 例
抜歯	78 例	顎変形症	49例(重複あり)

2018年4月より協力病院となっております。当科は日本口腔外科学会指導医・認定医、日本歯科麻酔学会専門医・認定医、日本口腔顔面痛学会指導医、日本障害者歯科学会認定医、日本老年歯科医学会認定医によって構成され、2009年10月の新規開設以来口腔外科疾患全般および全身疾患を有する患者の歯科治療、入院・外来患者の嚥下機能評価と口腔ケア（周術期口腔機能管理）および栄養サポート、周術期の麻酔管理、口腔顔面領域のペインクリニックといった、各医員の専門性を活かした診療内容を展開してきました。また、一般歯科診療の担当として小児歯科、障害者歯科専門医を非常勤歯科医師として招聘し、病院歯科における歯科診療の充実を図っています。所属医療圏内における歯科口腔外科の中核病院として、口腔外科疾患に対する治療、全身麻酔下での障害者歯科治療、歯科治療後の神経障害性疼痛に対する治療、摂食嚥下リハビリテーションを中心に行っています。

くすの木病院 歯科口腔外科

常勤歯科医師：副部長 中野みゆき 医長 塩谷智映子

初診患者数：1913名 紹介率 40.3%

再診患者数：5479名

入院患者数：145名

疾患別手術症例（全身麻酔）

悪性腫瘍	0 例	良性腫瘍	0 例
炎症	0 例	嚢胞	2 例
外傷	0 例	粘膜疾患	0 例
唾液腺疾患	0 例	埋伏歯	3 例
顎関節疾患	0 例	その他	0 例

対象疾患は、腫瘍、炎症、外傷、粘膜疾患など、多岐にわたります。処置では、主に、開業歯科医院からの紹介による抜歯術が多くを占めています。静脈内鎮静法のニーズは増加傾向にあり、歯科治療に対して恐怖心が強い患者に加え、全身疾患の増悪を防ぐ目的でのストレス緩和の一法として本法を併用しています。高齢社会を反映して、何らかの全身疾患を合併する患者が多いため、安全に治療が進められるように注意を払っています。

当院は、高齢化社会を見据えて、急性期から地域包括、リハビリ、療養型病棟まで、幅広く地域に密着した医療を提供することを心がけております。病院の基本理念に従い、当科も開業歯科と高次医療機関との橋渡し役として、地域医療の発展に邁進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

業績（2020年1月1日～12月31日 左記期間中の掲載決定論文を含む）

著書

1. 根岸明秀, 在宅患者の口腔ケア. 今日の臨床サポート. 改訂第4版. <http://clinicalsup.jp/>

総説

1. 牧口貴哉, 横尾 聡. エステティック・マインドを備えた口唇・口唇周囲広範欠損の再建. 形成外科 63 : 846-857,2020.

原著論文

1. Makiguchi T, Yamaguchi T, Nakamura H, Yamatsu Y, Hirai Y, Shoda K, Kurozumi S, Ibaragi S, Harimoto N, Motegi S, Shirabe K, Yokoo S. Evaluation of overall and disease-free survival in patients with free flaps for oral cancer resection. *Microsurgery*. 2020;40:859-867.
2. Makiguchi T, Yamaguchi T, Nakamura H, Ogawa M, Harimoto N, Shirabe K, Yokoo S. Impact of skeletal muscle mass on postoperative delirium in patients undergoing free flap repair after oral cancer resection. *J Plast Surg Hand Surg*. 2020;54:161-166.
3. Fujii T, Nakazawa Y, Ogino M, Obayashi S, Yajima R, Honda C, Nakamura H, Makiguchi T, Shirabe K. Oncological safety of immediate breast reconstruction with skin- or nipple-sparing mastectomy: the value of tumor-to-dermis distance measured by preoperative ultrasonography. *World J Surg Oncol*. 2021 in press.
4. Musha A, Shimada H, Kubo N, Kawamura H, Okano N, Miyasaka Y, Sato H, Shirai K, Saitoh JI, Yokoo S, Chikamatsu K, Ohno T. Evaluation of Carbon Ion Radiation-Induced Trismus in Head and Neck Tumors Using Dose-Volume Histograms. *Cancers*. 2020; 12:3116.
5. Musha A, Fukata K, Saitoh JI, Shirai K, Abe T, Mizukami T, Kawashima M, Yokoo S, Chikamatsu K, Ohno T, Nakano T. Tongue surface model can predict radiation tongue mucositis due to intensity-modulated radiation therapy for head and neck cancer. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 2020;49:44-50.
6. Kim M, Trang Thuy Dam, Ogawa M, Shimizu T, Yamaguchi T, Suzuki K, Asami T, Kurihara J, Yokoo S. Predictive factors for dental inflammation with exacerbation during cancer therapy with FDG-PET/CT imaging Supportice care in cancer DOI : 10.1007/s00520-020-05909-9 in press
7. Shimizu T, Yokoo S, Takayama Y, Musha A, Ogawa M, Makiguchi T. Elongated Styloid Process With Skeletal Mandibular Protrusion. *J Craniofac Surg*. 2020 Dec 9. DOI: 10.1097/SCS.0000000000007298. Online ahead of print.
8. Suzuki K, Kurihara J, Kim M, Yanagisawa S, Ogawa M, Makiguchi T, Yokoo S. Image screening for maxillo-mandibular actinomycosis with CT, 18F-FDG-PET/CT, and 18F- α -methyl tyrosine PET/CT. *Oral Radiol*. 2021 ;37:46-54. DOI: 10.1007/s11282-020-00421-6
9. Yamaguchi T, Makiguchi T, Nakamura H, Yamatsu Y, Hirai Y, Shoda K, Suzuki K, Kim M, Kurozumi S, Motegi S, Shirabe K, Yokoo S. Impact of muscle volume loss on acute oral mucositis in patients undergoing concurrent chemoradiotherapy after oral cancer

- resection. *Int J Oral Maxillofac Surg.* 2021 Jan 4;S0901-5027(20)30447-1. DOI: 10.1016/j.ijom.2020.12.005.
10. Nakamura H, Makiguchi T, Yamaguchi T, Suzuki K, Yokoo S. Impact of sarcopenia on postoperative surgical site infections in patients undergoing flapreconstruction for oral cancer. *Int J Oral Maxillofac Surg.* 2020;49:576-581.
 11. Nakamura H, Makiguchi T, Atomura D, Yukie Yamatsu, Ken Shirabe, Yokoo S. Changes in Skin Perfusion Pressure After Hyperbaric Oxygen Therapy Following Revascularization in Patients With Critical Limb Ischemia: A Preliminary Study. *Int J Low Extrem Wounds.* 2020;19:57-62.
 12. Nakamura H, Makiguchi T, Yamaguchi T, Fujii T, Shirabe K, Yokoo S. Impact of skeletal muscle mass on complications following expander breast reconstruction. *J Plast Reconstr Aesthet Surg.* 2020;73:1285-1291
 13. Osu N, Kobayashi D, Shirai K, Musha A, Sato H, Hirota Y, Shibata A, Oike T, Ohno T. Relative Biological Effectiveness of Carbon Ions for Head-and-Neck Squamous Cell Carcinomas According to Human Papillomavirus Status. *J Pers Med.* 2020 Jul 25;10:71. DOI: 10.3390/jpm10030071
 14. Kubo N, Kubota Y, Oike T, Kawamura H, Sakai M, Imamura A, Komatsu S, Miyasaka Y, Sato H, Musha A, Okano N, Shirai K, Saitoh JI, Chikamatsu K, Ohno T. Skin Dose Reduction by Layer-Stacking Irradiation in Carbon Ion Radiotherapy for Parotid Tumors. *Front Oncol.* 2020 14;10:1396.
 15. Kurasawa Y, Maruoka Y, Sekiya H, Negishi A, Mukohyama H, Shigematsu S, Sugizaki J, Karakida K, Ohashi M, Ueno M, Michiwaki Y. Pneumonia prevention effects of perioperative oral management in approximately 25,000 patients following cancer surgery. *Clin Exp Dent Res.* 2020;6:165-73.
 16. Nozaki S, Tsutsumi Y, Takasaki Y, Yoshikawa H, Shinya T, Souta R, Nakamoto N, Marukawa K, Usami T, Sunami J, Takashima M, Tanaka K, Nishizawa R, Yanase S, Negoro K, Negishi A, Okumura H, Otsuka Y, Honda Y, Otsuru H, Arika T, Nakashima T, Nagasaka H, Watanabe Y, Kajiya M, Senpuku H, Iwabuchi H. Predictors of early postoperative pneumonia after oncologic surgery with the patients receiving professional oral health care: A prospective, multicentre, cohort study. *J Periop Prac* 2020 Jul 10 <https://doi.org/10.1177/1750458920939775>
 17. Narita M, Takaki T, Shibahara T, Iwamoto M, Yakushiji T, Kamio T. Utilization of desktop 3D printer-fabricated “Cost-Effective” 3D models in orthognatic surgery. *Maxillofac Plast Reconstr Surg* 2020; 42: 24.
 18. Seki-Soda M, Sano T, Ito K, Yokoo S, Oyama T. An immunohistochemical and genetic study of BRAF^{V600E} mutation in Japanese patients with ameloblastoma. *Pathol Int* 2020; 70: 224-230.
 19. Togo M, Yokobori T, Shimizu K, Handa T, Kaira K, Sano T, Tsukagoshi M, Higuchi T, Yokoo S, Shirabe K, Oyama T. Diagnostic value of 18F-FDG-PET to predict the tumour immune status defined by tumoural PD-L1 and CD8+ tumour-infiltrating lymphocytes in oral

squamous cell carcinoma. Br J Cancer. 2020; 122: 1686-1694.

20. 牧口貴哉, 平井優樹, 辻本賢樹, 佐藤 誠. イノシシ咬傷 (Wild Boar Attack) ～犬猫ペット咬傷との違い～. 形成外科. 印刷中
21. 中村英玄, 牧口貴哉, 後村大祐, 山津幸恵, 辻本賢樹, 横尾 聡. 末梢動脈疾患患者とその予備軍における血管柄付き遊離腓骨皮弁採取の是非. 日形会誌. 2020;40:269-273.(日本形成外科学会最優秀論文賞)
22. 遠藤 瑞貴, 黒住 献*, 成澤 瑛理子, 本田 周子, 尾林 紗弥香, 矢島 玲奈, 片山 彩香, 酒井 真, 牧口 貴哉, 小山 徹也, 藤井 孝明, 堀口 淳, 調 憲. 浸潤性乳癌におけるアンドロゲン受容体関連分子経路の予後因子としての有用性について. 乳癌基礎研.28:9-16,2020.
23. 信澤愛子, 今井正之, 田中 舞, 高久裕紀, 横尾 聡. 桐生厚生総合病院と桐生市歯科医師会における障害者歯科治療の取り組み. 群馬歯科医学会雑誌 24: 11-14, 2020.
24. 長尾映里, 安部文人, 三津山信治, 木村雅明, 柴野正康, 大畠仁, 柴原孝彦, 樋口哲也. 歯根嚢胞と慢性化膿性根尖性歯周炎の治療により改善した肉芽腫性口唇炎の1例. 皮膚科の臨床. 62:1285-1288,2020.
25. 高戸 毅, 北川善政, 上川善昭, 岸本裕充, 中村誠司, 古森孝英, 近津大地, 森 良之, 丹沢秀樹, 片倉 朗, 金川昭啓, 梅田正博, 五味暁憲, 米永一理: 口腔咽頭カンジダ症に対するミコナゾール口腔粘膜付着錠とミコナゾールゲル剤との比較. 日本医真菌学会雑誌.61: 53-61, 2020.

症例報告

1. Musha A. A Shape of Spread-Out Bragg Peak. Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2020. in press.
2. Atomura D, Makiguchi T, Nakamura H, Yamatsu Y, Osone K, Motegi Y, Ogawa H, Shirabe K, Yokoo S. Sacral and Rectal Necrosis after Carbon Ion Radiotherapy Reconstructed with Transpelvic Rectus Abdominis Flap. Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Jun 16;8:e2885.
3. Atomura D, Makiguchi T, Yamaguchi T, Nakamura H, Yamatsu Y, Shirabe K, Yokoo S. Fibro-osseous Pseudotumor of the Toe. Eplasty. 2020 Feb 22;20:ic2.
4. Onishi N, Iwai T, Ogawa M, Yokoo S, Mitsudo K. Malignant transformation of buccal mucosa leuoplakia in patient with dyskeratosis congenita. Ear Nose Throat J. 2020 Jul 7;145561320938908. doi: 10.1177/0145561320938908. Online ahead of print.
5. 平井優樹, 蔡顯真, 松森万里子, 田原真也, 寺師浩人. 9歳男児の前額部に生じた外毛根鞘癌の1例. 日形会誌.40:543-546,2020.
6. 今井正之, 宇田川雅俊, 田中 舞, 高久裕紀, 横尾 聡. 明らかな外傷歴のない破傷風の1例. 日口診誌 33: 20-16, 2020.
7. 境野才紀, 栗原 淳, 大隅麻貴子, 五味暁憲, 小杉謙介, 横尾 聡. 知的障害を有するダウン症候群患者の習慣性顎関節脱臼に自己血注入療法(ABI)を行った1例. 障害者歯科.41: 312-317, 2020.

シンポジウム、ワークショップなど

第38回 日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2020年1月23-24日, 東京

1. 牧口貴哉. リハビリメイクから再建を考える(未来の美)【パネルディスカッション】

第17回 日本口腔ケア学会総会・学術大会 2020年9月3日, 長崎県

2. 根岸明秀. 周術期等口腔機能管理の問題点 -歯科医師・医師・患者-. シンポジウム 6 : 周術期等口腔機能管理の課題と今後の展開.

第 65 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2020 年 11 月 13 日-12 月 15 日, Web 開催

3. 横尾 聡. 下顎再建における標準治療とは何か? -治療目標と問題意識の共有化- 【シンポジウム】
4. 横尾 聡. 病態生理からみた歯性上顎洞炎治療-完治率および口腔上顎洞瘻孔自然閉鎖率 100%の治療法- 【ミニレクチャー】
5. 牧口貴哉. 口唇とその周囲の Aesthetic mind を取り入れた形成外科的再建 【ミニレクチャー】
6. 小川 将. マイクロスコープを用いた歯根端切除 (広範囲に進展した歯根嚢胞への適用) 【ミニレクチャー】

一般演題発表

第 20 回 日本クリニカルパス学会学術集会 2020 年 1 月 17-18 日, 熊本

1. 佐藤花織, 小林雅実, 田口鉄馬, 石川史子, 宮野佳子, 高野 淳志. 全身麻酔下障害者歯科治療パスの有用性 (示説)

第 24 回 群馬県歯科医学会 2020 年 1 月 19 日, 前橋

2. 清水崇寛, 金 舞, 栗原 淳, 横尾 聡. 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死・骨髄炎(ARONJ)における画像診断学的評価を用いたリスク因子の検討 (口演)
3. 浅見拓哉, 金 舞, 清水崇寛, 栗原 淳, 横尾 聡. 群馬大学医学部附属病院歯科口腔・顎顔面外科における周術期口腔機能管理の介入効果の検討 (口演)
4. 山口高広, 小川 将, 栗原 淳, 牧口貴哉, 横尾 聡. 下顎歯肉扁平上皮癌における歯根膜進展の予測因子 (口演)
5. 高山 優, 大隅麻貴子, 清水崇寛, 小川 将, 横尾聡. 有茎頬脂肪体移植による口腔再建 (示説)
6. 谷口明慧, 金井秀子, 佐々木眞一. 術前肺機能検査でのモストグラフの有用性について(口演)
7. 岡崎寛弥, 中原航大朗, 小川 将, 山口高広, 高久裕紀, 栗原 淳, 横尾 聡. 反応性リンパ様過形成を伴った上顎歯肉癌の 1 例 (口演)
8. 齋藤恵実, 鈴木啓佑, 栗原 淳, 横尾 聡. 口腔に発生した MTX 関連リンパ増殖性疾患に対する臨床的検討-自己免疫疾患治療薬の有害事象としての口腔症状と歯科的対応- (口演)
9. 薬師寺 孝, 前山恵里, 柴野正康, 木村将典, 倉持真理子, 稲川元明. 頬脂肪体に矯正治療用ワイヤー片が迷入した 1 例 (口演)

第 38 回 日本口腔腫瘍学会総会・学術大会口腔腫瘍学会 2020 年 1 月 23-24 日, 東京

10. 金 舞, 小川 将, 清水崇寛, 牧口貴哉, 横尾 聡. Cetuximabu 投与患者における PET biomarker を用いた治療効果予測 (示説)
11. 鈴木啓佑, 栗原 淳, 小川 将, 横尾 聡. 下顎骨に発症した孤立性神経線維腫の 1 例と文献的統合解析. (示説)
12. 浅見拓哉, 金 舞, 清水崇寛, 栗原 淳, 横尾 聡. 頭頸部化学放射線療法患者における口腔粘膜障害が周術期栄養状態に与える影響 (示説)
13. 山口高広, 牧口貴哉, 小川 将, 栗原 淳, 横尾 聡. 骨格筋量減少が口腔癌皮弁再建患者の予後へ及ぼす影響 (示説)

14. 山口高広, 小川 将, 栗原 淳, 牧口貴哉, 横尾 聡. 下顎歯肉扁平上皮癌における歯根膜進展の予測因子 (示説)
15. 金井 梢, 鈴木啓佑, 小川 将, 横尾 聡. 口腔再建後の移植皮膚に発生した悪性腫瘍の1例と文献的統合解析 (示説)
16. 大隅麻貴子, 清水崇寛, 高山 優, 横尾 聡. 上顎に発生した desmoid 型乳幼児線維腫症の1例(示説)
17. 伊東慶介, 小川 将, 鈴木啓佑, 中村英玄, 後村大佑, 横尾 聡. 舌癌頸部再発性皮膚潰瘍の癌性悪臭対策にメトロニダゾールを使用した1例. (示説)
18. Seki-Soda M, Sano T, Koshi H, Oyama T, Ogawa M, Yokoo S.
Histopathological changes in tumor budding between biopsy and resected specimens from patients treated preoperative S-1 chemotherapy for oral cancer.(示説)
19. Seki-Soda M, Sano T, Ogawa I, Ishikawa A, Arai H, Hirato J, Takayama Y, Takata T, Oyama T, Yokoo S. Two cases of odontogenic carcinoma with sclerosing features in the mandible: diagnostic difficulties in a sclerpsoin odontogenic carcinoma. (示説)

第 25 回 日本形成外科手術手技学会 2020 年 2 月 8 日, 浜松

20. 中村英玄, 牧口貴哉, 後村大祐, 山津幸恵, 横尾 聡. 陰茎・陰囊に対して局所陰圧閉鎖療法を行った2例 (口演)
21. 中村英玄, 牧口貴哉, 後村大祐, 山津幸恵, 横尾 聡. 上肢に生じた神経鞘腫に対して、顕微鏡下に神経刺激装置を用い腫瘍核出術を行った1例 (口演)

第 74 回 日本口腔科学会学術集会 2020 年 4 月 15-17 日, 新潟, web 開催

22. 武者 篤, 横尾 聡. 頭頸部重粒子線治療における開口障害発症線量の解析 (示説)
23. 中村英玄, 牧口貴哉, 後村大祐, 山津幸恵, 横尾 聡. 顎口腔領域における亜鉛欠乏が術後創治癒に与える影響についての検討 (口演)

第 21 回 言語聴覚士学会 2020 年 07 月 13 日, 茨城, Web 開催

24. 片桐広行, 稲田美幸, 神戸智幸. 進行性核上性麻痺の嚥下障害出現時期に, 嚥下機能評価・リハビリテーションを行うことにより, 経口摂取の継続に至った一例 (口演)

第 29 回 日本有病者歯科医療学会総会・学術大会 2020 年 7 月 18-19 日, 神戸, 紙面開催

25. 金井秀子. 頬粘膜血腫を初発症状とした血小板減少症の1例
26. 神戸智幸, 神戸美保子, 横尾 聡. あおり運転後に殴打され顔面頸椎打撲を認めた刑事事件の1例 (口演)

第 44 回 日本頭頸部癌学会 2020 年 7 月 17-27 日, web 開催

27. 武者 篤, 久保亘輝, 宮坂勇平, 岡野奈緒子, 河村英将, 今村文香, 小松秀一郎, 佐藤浩央, 高安幸弘, 柴野正人, 新國 撰, 井田翔太, 横尾 聡, 近松一朗, 大野達也. 群馬大学における頭頸部非扁平上皮癌に対する重粒子線治療の長期成績 (口演)

第 63 回 日本形成外科学会総会・学術集会 2020 年 8 月 26-28 日, 名古屋

28. 平井優樹, 松森万里子, 田原真也, 蔡顯真. 剃刀による shrap excision を行った鼻瘤2症例の検討 (口演)
29. 中村英玄, 牧口貴哉, 平井優樹, 山津幸恵, 正田晃基, 横尾 聡. 糖尿病性足潰瘍の術後創治癒に影響を与える因子についての検討 (口演)

第 20 回 日本外傷歯学会総会・学術大会 2020 年 9 月 26-27 日,東京, 誌面開催

30. 神戸美保子, 神戸智幸, 武者 篤, 横尾 聡. あおり運転後に殴打され顔面頸椎打撲を認めた刑事事件の 1 例 (口演)
31. 神戸智幸, 神戸美保子, 武者 篤, 横尾 聡. Hybrid MMF シーンを用いて治療を行った下顎骨骨折の 1 例 (口演)

第 33 回 日本口腔診断学会・第 30 回日本口腔内科学会・第 13 回日本口腔検査学会 合同学術大会 2020 年 10 月 5-20 日, Web 開催

32. 薬師寺孝, 前山恵里, 柴野正康, 稲川元明. 多発性口腔潰瘍を認めた ANCA 関連血管炎の 2 例. (示説)

第 33 回 日本放射線腫瘍学会学術大会 2020 年 10 月 1-3 日, web 開催

33. 武者 篤, 久保亘輝, 北田陽子, 平井知佳, 金 舞, 浅見拓哉, 岡野奈緒子, 河村英将, 横尾 聡, 大野達也. 頭頸部重粒子線治療時の患者向け冊子改訂の試み (示説)

第 32 回 一般社団法人日本小児口腔外科学会学術大会 2020 年 11 月 6, 7 日, 北九州 誌上開催

34. 神戸智幸, 神戸美保子, 武者 篤, 横尾 聡. 一卵性双生児の両児に見られた上顎正中過剰埋伏歯の症例 (口演)
35. 佐々木眞一. 即時重合レジンをを用いた外傷性歯牙脱臼の 1 例

第 38 回 日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 2020 年 11 月 12-13 日, 東京

36. 平井優樹, 正田晃基, 中村英玄, 山津幸恵, 牧口貴哉, 横尾聡. 鼻腔癌手術による外鼻・上顎・上口唇欠損に対して姑息的に上口唇のみを再建した一例 (口演)
37. 山口高広, 牧口貴哉, 小川 将, 横尾 聡. 骨格筋量減少が口腔癌皮弁再建患者の予後へ及ぼす影響 (示説)
38. 中村英玄, 牧口貴哉, 平井優樹, 山津幸恵, 正田晃基, 横尾 聡. 口腔癌再建術後における皮弁委縮のリスク因子についての検討 (口演)
39. 正田晃基, 平井優樹, 中村英玄, 山津幸恵, 牧口貴哉, 横尾 聡. 頭頸部に発生した結節性筋膜炎の二例 (口演)

第 65 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 2020 年 11 月 13-15 日, web 開催

40. 武者 篤, 横尾 聡. 放射線性口腔粘膜炎の発症予測とその応用 (口演)
41. 高山 優, 大隅麻貴子, 武者 篤, 横尾 聡. 高線量照射内の多数歯抜歯後に有茎頬脂肪体移植を適応し良好に経過した 1 例 (口演)
42. 薬師寺孝, 前山恵里, 柴野正康, 稲川元明. 特発性歯肉線維腫症の 1 例 (示説)
43. 柴野正康, 前山恵里, 倉持真理子, 薬師寺孝, 稲川元明, 高野正行. 口唇に生じた孤立性線維性腫瘍の 1 例 (示説)

第 37 回 (公社) 日本障害者歯科学会総会および学術大会 2020 年 11 月 13-23 日, Web 開催

44. 鈴木菜穂, 佐藤瑞樹, 熊井鈴子, 福島圭子, 久木留宏和, 小杉謙介, 斎藤崇, 辻野啓一郎, 横尾 聡, 新谷誠康, 一戸達也. 歯科恐怖症をもつ知的能力障害者に行動変容を行った 1 例 (示説)
45. 熊井鈴子, 佐藤瑞樹, 鈴木菜穂, 福島圭子, 久木留宏和, 小杉謙介, 斎藤崇, 辻野啓一郎, 横尾 聡, 新谷誠康, 一戸達也. ブラッシング指導と患者の環境変化により口腔衛生状態が改善した知的能力障害者の 1 例 (示説)

第 12 回 日本創傷外科学会総会・学術集会 2020 年 12 月 10-11 日, 徳島

46. 中村英玄, 牧口貴哉, 平井優樹, 山津幸恵, 正田晃基, 横尾 聡. 乳房再建術後に Staphylococcal toxic shock syndrome(TSS)を発症した 1 例 (口演)

第 210 回 日本口腔外科学会関東支部学術大会 2020 年 12 月 19 日, 大宮, Web 開催

47. 神戸智幸, 神戸美保子, 武者 篤, 横尾 聡. 鼻腔内過剰菌を内視鏡下で摘出した 1 例—文献的統合解析による鼻腔内過剰菌治療の実態調査で見えてきた最近の知見— (口演)

研究会・勉強会など

第 6 回 地域包括ケア連携研究会 2020 年 1 月 11 日, 埼玉

1. 稲田美幸, 片桐広行, 猪岡弘行, 神戸智幸. 当院における嚥下内視鏡検査導入の試み—摂食・嚥下障害患者へのより充実した支援のために—

第 57 回 群馬放射線腫瘍研究会 2020 年 2 月 15 日, ミレニアムホール, 前橋

2. 武者 篤. 帰朝報告 (口演)

2020 年度埼玉よりい病院新入職員研修 2020 年 4 月 3 日, 寄居

3. 神戸智幸 白澤恭子 本田実沙. 口腔ケアハンズオンセミナー

2020 年度埼玉よりい病院医療安全対策委員会事故防止検討会 2020 年 07 月 01 日, 寄居

4. 白澤恭子, 神戸智幸

院内症例検討会 2020 年 7 月 9 日, 館林

5. 高野淳志. 舌痛症に対する口腔ケアの有用性 ~舌痛症についての概略

6. 谷津美恵. 舌痛症に対する口腔ケアの有用性 ~当科における取組み~

2020 年度北足立補綴研究会 2020 年 9 月 15 日, 上尾

7. 野原 通. 歯科に適応する抗菌薬の選択

院内 NPWT 勉強会 2020 年 9 月 30 日, 前橋

8. 中村英玄 NPWT 勉強会

乳児(3 か月)虐待死に関する埼玉県警への捜査協力・意見書作成 2020 年 11 月 11 日, 本庄市児玉郡

9. 神戸智幸

糖尿病懇話会 糖尿病と口腔ケア 2020 年 11 月 14 日

10. 佐々木眞一

2020 年度日本総合口腔医療学会学術セミナー 2020 年 11 月 15 日, 東京

11. 野原 通. 清潔・不潔の基礎知識自分も患者も守れてる!? 新型コロナウイルス院内感染を予防する

埼玉よりい病院モデル 2020 年 11 月 28 日, 寄居

12. 神戸智幸. 習慣性顎関節脱臼に対する治療プロトコール

伊勢崎市民病院研修医勉強会 2020 年 12 月 17 日, 伊勢崎

13. 五味暁憲, 大隅麻貴子, 境野才紀. 患者さんの早期回復に役立つ漢方薬のご案内

前橋市通所型介護予防事業「ピンシャン! 元気塾」 12 回/年

14. 井野智鶴, 蛭原友香. ピンシャン元気塾 口腔編 (口演)

講演

1. 横尾 聡. 開業医での口腔外科的な臨床のヒント—開業医での初動の重要性—

症例から考える口腔粘膜疾患，口腔癌，そして抗菌剤予防投与の代替療法

2021年2月8日 徳島大学歯学部同窓会学術講演会，神戸

2. 横尾 聡. 歯性上顎洞炎がなぜ生命にかかわるのか？－なぜ歯性上顎洞炎を治療しなければならないのか？－ 2021年2月15日 鹿児島県市歯科医師会後期学会・学術集会、鹿児島
3. 五味暁憲. 歯科口腔外科領域の漢方について. 漢方研修会 2020年1月31日，東北大学医学
4. 野原 通. 歯科医療における院内感染対策. 2020年度北足立郡歯科医師会学術講演会 2020年9月16日，鴻巣
5. 武者 篤. 放射線性口腔粘膜炎の発症予測(北関東医学会奨励賞受賞講演) 第67回北関東医学会総会 2020年9月25日，群馬大学医学部刀城会館，前橋

広報誌連載

1. 2020年1月9日発行 それってもしかして，摂食・嚥下障害かも(1) 埼玉よりい病院 広報誌，神戸智幸
2. 2020年4月1日発行 それってもしかして，摂食・嚥下障害かも(2) 埼玉よりい病院 広報誌 神戸智幸

表彰

1. 当教室 第38回日本口腔腫瘍学会 最優秀施設賞（最多演題賞）
2. 武者 篤 第74回日本口腔科学会学術集会 web学会賞
3. 武者 篤 第67回北関東医学会総会 奨励賞
4. 武者 篤 日本放射線腫瘍学会第33回学術大会 JASTRO2020「いいね！」5位入賞
5. 金 舞 第38回日本口腔腫瘍学会学術大会 優秀ポスター賞
6. 関 麻衣 第38回日本口腔腫瘍学会学術大会 優秀ポスター賞(2題)
7. 浅見拓哉 第38回日本口腔腫瘍学会学術大会 優秀ポスター賞
8. 谷口明慧 第22回日本組織細胞科学会 論文賞

Taniguchi A, Susa T, Kogo H, Iizuka-Kogo A, Yokoo S, Matsuzaki T: Long-term Pilocarpine Treatment Improves Salivary Flow in Irradiated Mice. *Acta Histochem. Cytochem.* 2019;52:45–58.

学位受領者

小川 将 2020年1月31日

Ogawa M, Yokoo S, Yamaguchi T, Suzuki K, Makiguchi T: Factors influencing bone healing after extirpation with endodontic microsurgery-microscopic apicoectomy for extensive radicular cysts. *2019;69:315–324.*

助成金

1. 助成金の種類：学内研究助成金
研究種目：令和2(2020)年度若手研究助成
研究期間：2020
研究課題：癬痕・ケロイド治療を頭部MRIを用いた脳科学的アプローチで評価する臨床研究

研究代表者 : 牧口 貴哉
助成金総額 : 配分総額 995,000 円

2. 助成金の種類 : 民間助成金

研究種目 : 上原記念生命科学財団 2020 年度 研究奨励金(健康科学・医学・薬学)
研究期間 : 2020-2021
研究課題 : 粘膜炎発症予測情報共有による新規看護介入方法の開発
研究代表者 : 武者 篤
助成金総額 : 2,000 千円

3. 助成金

助成金の種類 : 学内研究助成金
研究種目 : 令和 2(2020)年度論文奨励継続研究費
研究期間 : 2020
論文 title : A Shape of Spread-Out Bragg Peak.
研究代表者 : 武者 篤
助成金総額 : 60 千円

4. 助成金の種類 : 学内研究助成金

研究種目 : 令和 2 (2020)年度若手研究助成
研究期間 : 2020
研究課題 : 粘膜モデルによる QOL 維持向上を目指した患者参加型頭頸部放射線治療の開発
研究代表者 : 武者 篤
助成金総額 : 500 千円

5. 助成金の種類 : 科学研究費

研究種目 : 若手研究
研究期間 : 2018-2021
研究課題 : 口腔癌代謝リプログラミングを反映した新規 PET バイオマーカーの探索
研究代表者 : 金 舞
助成金総額 : 4,030 千円(直接経費 3,100 千円, 間接経費 930 千円)

6. 助成金の種類 : 科学研究費

研究種目 : 基盤研究 (C)
研究期間 : 2017-2020
研究課題 : 開鼻声値から算出される鼻咽腔閉鎖圧を用いた鼻咽腔機能評価法の開発と基準値の設定
研究代表者 : 五味暁憲
助成金総額 : 3,770 千円 (直接経費 : 2,900 千円、間接経費 : 870 千円)

7. 助成金の種類：科学研究費

研究種目：若手研究
研究期間：2019-2021
研究課題：内臓脂肪型肥満発症経路が関与する抗癌剤耐性機構の解明
研究代表者：喜名美香
助成金総額：4,160千円（直接経費：3,200千円、間接経費：960千円）

資格取得

喜名美香 日本口腔外科学会認定医（2020年4月）
中原航大朗 日本口腔外科学会認定医（2020年4月）
神戸智幸 日本口腔科学会認定医（2020年6月）
神戸智幸 ICLS 修了（2020年10月）
浅見拓哉 臨床歯科医師指導医（2020年11月）
山口高広 臨床歯科研修指導医（2020年11月）
栗原 淳 ICD（Infection Control Doctors）制度協議会認定ICD（2020年12月）
清水崇寛 ICD（Infection Control Doctors）制度協議会認定ICD（2020年12月）
神戸智幸 ジャパンオーラヘルス（旧歯科人間ドック）学会指導医（2020年12月）
神戸智幸 日本小児口腔外科学会認定医指導医研修施設認定(埼玉よりい病院)(2020年12月)

施設認定

公立富岡総合病院 日本口腔外科学会準研修指定病院

学会等役職

横尾 聡
特命病院長補佐
厚労省 社会保障審議会・疾病、傷病および死因分類専門員委員会委員
群馬大学重粒子線治療頭頸部腫瘍専門部会・委員長
日本口腔腫瘍学会：理事，評議員，教育研修委員長，学会機関誌編集査読委員
日本口腔科学会：評議員，教育研修委員，財務委員
日本口腔外科学会：代議員，学術委員会委員，将来構想委員会委員
日本頭頸部癌学会：評議員（査読担当）
日本顕微鏡歯科学会：理事，認定審議委員会委員長 Int J Microdent（学会機関誌） editor.
日本有病者歯科医療学会：代議員
日本口腔内科学会：代議員
アジア口腔顎顔面外科学会：J Oral Maxillofac Surg Med Pathol（学会機関誌） editor.
北関東医学会：評議員
日本学術振興会：科学研究費専門委員会委員
群馬県歯科医師会顧問
群馬県歯科医学会顧問
群馬県歯科総合衛生センター顧問

京都インプラント研究所顧問

根岸明秀

日本口腔ケア学会：評議員，学術委員，ガイドライン作成委員（造血幹細胞移植患者の口腔ケア：委員長），編集委員。

顎顔面手術手技研究会：世話人。

群馬大学医学部，横浜市立大学医学部：非常勤講師

牧口貴哉

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 評議員，保険委員，医療安全委員

日本頭蓋顎顔面外科学会 代議員

日本形成外科手術手技学会 理事

日本創傷外科学会 評議員

日本形成外科学会 四肢再建ガイドライン作成委員 下腿再建班長

北関東医学会 評議員

群馬手術手技フォーラム 世話人

五味暁憲

北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会 世話人

栗原 淳

日本口腔外科学会 代議員

小川 将

日本顕微鏡歯科学会評議員

日本口腔外科学会 代議員

武者 篤

群馬大学重粒子線治療頭頸部腫瘍専門部会 研究事務局員・部会員

Members of the reviewer board of the Journal Cancers

金 舞

日本スキャンナビ放射線医学協会 幹事

須佐岳人

群馬県緩和医療研究会 世話人

日本口腔ケア学会緩和医療における口腔ケアガイドライン作成委員会 委員

神戸智幸

日本外傷歯学会 評議員

特定医療法人俊仁会 執行役員：常務理事(副理事長)

埼玉よりい病院 病院管理運営役員

埼玉よりい病院 NST 委員長 SST 責任者

清水崇寛

群馬県歯科医学会 理事

浅見拓哉

昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 兼任講師

小杉謙介

群馬県歯科医学会 理事